

	<p>一度感染が広がってしまえば、もはや人間の力で抑え込むなんてことは無理な話だ」</p> <p>…真剣に聞く市民の姿</p> <p>田中医師「ただし、皆さんが力を合わせて対策をとれば、被害を格段に低く抑えることはできるはずです。ですから皆さん、もしパンデミックになったとしても、決して慌てないで下さい。大切なのは今から十分な準備をしておくことです」</p> <p>…拍手をする受講者</p> <p>田中医師が廊下へ出ると、そこに美咲が待っている</p> <p>美咲「(おじぎをして)」</p> <p>田中医師「？」</p>
5	会場の外
	<p>…たとえば中庭のベンチなどで、田中医師と美咲</p> <p>田中医師「高校2年生？」</p> <p>美咲「はい。鳥インフルエンザとか新型インフルエンザのことを、いろいろ調べているんです」</p> <p>田中医師「ほう、そりゃあ関心だ。でも、どうしてまた？」</p> <p>美咲「自分でもよく分かりません。…たぶん怖がりなんです私。臆病だから、怖いから、だからそれで」</p> <p>田中医師「なるほど。別に怖がることは恥ずかしくないよ。むしろ皆が怖がって、インフルエンザの予防に関心を持ってくれたら、医者ほどだけ助かるか」</p> <p>美咲「…」</p>

	<p>田中医師「国は新型インフルエンザが起きれば、日本だけで64万人が死ぬと言っている。ところが、いやそんなものじゃない、100万人が死ぬとぞ言う人もいる。かと思えば逆に、大騒ぎする問題じゃないという先生もいる」</p> <p>美咲「…」</p> <p>田中医師「結局、どの程度の被害になるのかは、起きてみないと分からない。だから、あなたのように想像力を発揮して、そのとき何が起きるのかをイメージするというのは、本当は大切なことなんだ」</p> <p>美咲「…」</p> <p>田中医師「これからもがんばって、いろいろ調べてみて下さい。いざというとき、きっと役に立つから」</p> <p>美咲「あ、はい」</p> <p>田中医師「そうだ、これを貸してあげよう。今から90年前に起きた、当時の新型インフルエンザの資料だ。できれば、こんな事態は避けたいんだけどね。じゃあ」</p> <p>美咲「ありがとうございました」</p> <p>…美咲、手渡された資料に目をやる 表紙に大きく「スペイン・インフルエンザ」と書かれている</p>
6	資料イメージ
CGイメージをベースに過去の資料や新聞記事	<p>…CGや資料写真などによる構成</p> <p>NA「1918年、ときは第一次世界大戦の真っ只中。当時スペインかぜと呼ばれたスペイン・インフルエンザが、世界中の人々を恐怖に陥れました」</p>

	<p>NA「感染者数、全世界で6億人。死者は、およそ4000万人。日本だけでも39万人がスペイン・インフルエンザによって命を落としています」</p> <p>NA「病院は大勢の患者であふれ、社会の混乱は、学校や鉄道、軍隊にも及びました。短い間にあまりにも多くの人々が亡くなったため、火葬場のまわりには遺体が山積みになったと言います」</p> <p>NA「じつは、このスペイン・インフルエンザこそが、当時の新型インフルエンザによる、感染爆発・パンデミックだったのです」</p>
6	実写イメージ
雑踏などのイメージ	<p>…雑観など都会のイメージ映像。文字情報が重なる</p> <p>NA「今回、もし新型インフルエンザが発生すれば、スペイン・インフルエンザと同様にパンデミックとなることが懸念されています」</p>
文字情報	<p>NA「仮にそうなった場合、厚生労働省では、国内における感染者数を総人口の25%、およそ3200万人と想定。また最悪の場合、感染者の2%にあたる64万人が死亡するものと見ています」</p>
数値比較	<p>NA「ちなみに、将来予測される首都直下型地震での死者はおよそ1万3千人。この数字だけを比べても、新型インフルエンザがいかに深刻な事態かが理解できます」</p>
7	朝／通学路
商店街近くの通学路	<p>…制服姿で学校に向かう美咲</p> <p>美咲の声「日本人の25%、つまり4人に1人が感染する」</p>
女子高生たち	<p>…美咲の視線の先に4人の女子高生。その一人がマスクをして、咳き込んでいる</p>

<p>市民 CGエフェクトで</p>	<p>美咲の声「もし感染者が100人いれば、そのうち2人は死亡する」</p> <p>…信号待ちの雑踏にマスク姿の人々が数人いる そのうちの2人の姿がエフェクトで消える</p> <p>美咲の声「こんなことが現実になる、その日がもう、すぐそこまで迫っている」</p> <p>美咲「…(そんな幻覚を見て)たいへん…」</p>
<p>8</p>	<p>放課後の教室</p>
<p>美咲を囲んで 同級生数人</p>	<p>…放課後の教室。美咲が同級生たちと話している</p> <p>相田あかね「ちょっとマジ？ 信じられない」</p> <p>加藤しおり「単純計算だと、うちの学校でも5人が死んじゃうわけ？」</p> <p>桜井まりな「でもさ、その前に電車やバスも動かないから、学校に来れないよ」</p> <p>相田あかね「じゃあ、学校閉鎖？」</p> <p>立花りさこ「ていうか、私たちの受験どうなるの」</p> <p>加藤しおり「ネットで見ただけけど、受験生が減るから無試験で入学できるかもって」</p> <p>…「いいね」「チャンス」などと、笑いながら</p> <p>美咲「みんな待って！」</p> <p>…一瞬にして鎮まる教室</p> <p>美咲「私、真面目に話してるんだよ。もし、パンデミックが起きたら、</p>

<p>ゆかり</p>	<p>世の中、マヒしちゃうの。もしかしたら暴動とかパニックになるかも知れないの」</p> <p>…同級生たち、その迫力に押されて「…」</p> <p>美咲「なのに、どうして笑ってられるわけ？ みんな死ぬかも知れないんだよ。それなのに、怖くないの？」</p> <p>…同級生たち、シラけた感じに散って</p> <p>美咲の声「私は知っていた。みんなは、別にふざけて笑ったわけじゃない。本当はみんなだって怖いのだ。でも、あまりにも怖すぎて、笑うぐらいしか出来ないのだ」</p> <p>…教室の隅で、夏川ゆかり(17)、その様子を見ている</p>
<p>9</p>	<p>再現イメージ</p>
<p>救急車のランプなど</p> <p>急患に対応する医師や看護師たち</p> <p>熱を訴える患者</p> <p>不調を訴える看護師</p> <p>寝込んでいる人</p> <p>看護している家族</p> <p>空港</p>	<p>…混乱した社会の様子を再現イメージで表現する</p> <p>NA「現在、恐れられているのが、パンデミックによる世の中の混乱です」</p> <p>NA「例えば医療機関の場合、患者が急増するばかりか医師や看護師たちもかなりの割合で感染し、病院としての機能が維持できなくなると見られています」</p> <p>NA「一般社会では、家族の看護や介護にあたる人たちも仕事を休むため、労働力が足りなくなり、電気、ガス、水道といったライフラインへの影響も懸念されています」</p> <p>NA「またとくに航空網が発達した現代、感染は世界でほぼ同時に起きるでしょう。その結果、輸出入の大幅な遅れやストップ、金融、経済の混乱なども予測されます」</p>

離発着する飛行機	
10	午後／学校近くの公園
<p>歩いている美咲</p> <p>ベンチでパソコンする男性</p> <p>ゆかり</p> <p>公園内・別場所</p>	<p>…公園の近くを歩く、下校途中の美咲</p> <p>美咲の声「情報化社会で育った私たちは、ネットに書かれたことをつい鵜呑みにしてしまう。だからもし、誰かが悪質なウソやデタラメを流したら、世の中は大混乱になる。もしも、もしもそうになったら、どうすればいいの…」</p> <p>…不安になって立ち止まる美咲 背後から、ゆかりが声をかける</p> <p>ゆかり「美咲さん」</p> <p>美咲「あっ、ゆかりちゃん？」</p> <p style="text-align: center;">* * *</p> <p>美咲「一緒に？」</p> <p>ゆかり「うん。私も新型インフルエンザにちょっと関心があって。だからもしよかったら、一緒に勉強できないかなって」</p> <p>美咲「うれしい。ありがとう」</p> <p>ゆかり「ホント？ よかった」</p> <p>美咲「だけど、どうして興味があるの？ 私はさ、超臆病だから、テレビで見たら急に怖くなっちゃったの(笑)。ゆかりちゃんは？」</p> <p>ゆかり「わたしは…」</p> <p>美咲「？」</p>

	<p>ゆかり「私、弟がいたんだけど、インフルエンザをこじらせて死んじゃったの。弟が2歳のとき」</p> <p>美咲「えっ…ごめん」</p> <p>ゆかり「ううん、大丈夫。だから、新型インフルエンザは私だって怖いわ。けどもう、これ以上家族を失いたくないの。だから、だから…」</p> <p>美咲「ゆかりちゃん…」</p>
11	夜／美咲の自宅
<p>一般的な食卓 40歳前後の父母と 小学生の弟</p>	<p>…父母と弟を含めた4人で夕食をとっている</p> <p>母親「新型インフルエンザ？」</p> <p>父親「どうせヨソの国の話だろ。SARSだって、あれだけ大騒ぎしたのに日本は何ともなかったじゃないか」</p> <p>母親「そういえばそうね。結局平気だったわよね」</p> <p>美咲「あのさ、二人ともどうして真剣になれないかな」</p> <p>父母「…」</p> <p>美咲「新型インフルエンザには、国民の25%、4人に1人が感染するんだよ」</p> <p>弟「4人に1人？」</p> <p>美咲「そう。だからこの中の誰か1人が罹るかも知れないの。もしお母さんが寝込んだら、ご飯どうするの？」</p> <p>母親「その時は、お弁当でも買えばいいじゃない」</p>

美咲「残念でした。新型インフルエンザのせいで、お店はどこもやってません」

弟「コンビニも？」

美咲「コンビニだって閉まってるわ。ていうか、だいたいモノが届かないの。食べ物とか飲み物とか、もう何もかもが品不足になっちゃうの」

弟「ぼくジュース飲みたい」

母親「お水にしなさい」

美咲「水道も、電気も、ガスも、全部止まっちゃうかも知れないんだよ」

父親「じゃあいつそのこと、みんなで田舎に疎開するか(笑)」

美咲「ふざけないで。都会も田舎も関係無いの。日本全体で起きちゃうんだから。それにもし、おばあちゃんが具合悪くなったらどうするつもり？」

父親「そのときは、俺が飛んで行くさ」

美咲「無理です。ガソリンスタンドだって開いてないんだから。それに外出禁止になるかも知れないのに」

父親「なっ…」

美咲「だいいち、私だって、隆志だって死んじゃうかも知れないんだよ。日本だけで64万人が死ぬんだよ」

弟「えっ、ボク死んじゃうの？」

美咲「もしかしたらの話。ねえ、それでも平気？ 私や、隆志が死ん



	<p>「じゃっても、平気でいられるわけ？」</p> <p>父母「(顔を見合わせる)」</p>
12	<p>夜／美咲の部屋</p> <p>…ベッドに寝転び、天井を見つめる美咲</p> <p>美咲の声「正直言えば、私だって新型インフルエンザの怖さを実感なんかできていない。だけど、その日が来たときを想像することは私にもできる」</p> <p>美咲の声「もちろん想像だけじゃ意味が無い。けれど想像すれば、そのとき何が必要なのか準備ができる」</p>
13	<p>朝／通学路</p> <p>通学路 同級生数人</p> <p>ゆかり</p> <p>美咲、凜として 歩いて行く…</p> <p>…制服姿で学校に向かう美咲 友だちが「おはよう」と声をかける</p> <p>美咲の声「だから、私は始める。その日が来る前に、そのとき何が起きるのか、今のうちから考える」</p> <p>…同級生のゆかりが声をかける 美咲とゆかり、楽しそうに話しながら学校へ向かう</p> <p>美咲の声「そうやってみんながその日に備えれば、少しでも被害を軽くできると思うから。新型インフルエンザになんか絶対に、絶対に負けたくないから」</p>
おわり【10分間】	

【第2部】

パンデミック～その日が来る前に～第2部／いま何ができるのか～	
1	神戸市
NHKニュース映像	<p>…阪神・淡路大震災の資料映像。美咲の声が重なる</p> <p>美咲の声「1995年1月。6千4百人以上の死者を出した、阪神・淡路大震災」</p> <p>美咲の声「このとき、被災地には全国から救援の手が次々と差し延べられた」</p>
崩壊したメリケン波止場	<p>美咲の声「けれど、新型インフルエンザの場合、外からの救援は期待できない。なぜなら全ての地域が被災地となり得るからだ」</p> <p>美咲の声「新型インフルエンザから逃れられる安全な場所…それは、地球のどこかに、残されていますか？」</p>
ジェット機	<p>…迫るジェット機の音</p> <p>上空を飛行機が飛んで行く</p>
2	アバンタイトル
暗転から浮かび上がるCG	<p>…CGによるウイルスのイメージ</p>
鳥インフルエンザの報道写真などをコラージュ	<p>NA「もはやいつ、どこで発生しても不思議ではない、新型インフルエンザ」</p> <p>NA「とくに航空網が発達した現代、感染爆発・パンデミックが世界中で起きるため、そうなれば安全な場所はどこにも残されていないでしょう」</p>
地球上規模の同時多発	<p>NA「しかし、被害を少しでも低く抑える手段は、残されているはずで す。果してそのために、私たちにはいったい何ができるのでしょうか」</p>
航空機のイメージ	

医療現場の再現イメージ	
3	メインタイトル
タイトルモーション	パンデミック～その日が来る前に～ …第2部／いま何ができるのか…
4	都市の雑観
都市の雑踏	美咲の声「最近、テレビや新聞に新型インフルエンザが取り上げられることが増えてきた」
5	放課後の教室
美咲を囲んで 同級生数人	<p>…美咲が同級生たちと 新型インフルエンザに備えて話し合っている</p> <p>美咲の声「そのせいか、クラスの友だちも少しずつ新型インフルエンザに関心を持つようになっていた」</p> <p>あかね「それでね、政府はワクチンを開発したり、薬を備蓄したりしているらしいの」</p> <p>ゆかり「でもさ、何かで読んだけど、薬がどの程度効くのかは、まだ分からないって話だよ」</p> <p>まりな「結局、国がやれることにも限界があるんだって、昨日テレビで言ってた」</p> <p>美咲「あ、それ私も見た」</p> <p>しおり「要するに、自分の身は自分で守れってことだよね」</p> <p>美咲「そう、そう」</p>

	<p>りさこ「だけどさ、自分の身は自分で守れって言われても、じゃあ何をどうすればいいわけ？」</p> <p>同級生たち「そうだよ」「マニュアルとかないの？」などと</p> <p>美咲「…あのね」</p> <p>同級生たち「？」</p> <p>美咲「私に、いい考えがあるんだ」</p> <p>…美咲、頷いて</p>
6	午後／日の出病院
街中の病院	<p>…待合室にいる美咲と同級生たち 午後休診のため患者の姿は殆ど無い</p> <p>同級生たち「失礼します」</p> <p>美咲「突然押しかけて、すみません」</p> <p>田中医師「大丈夫、大丈夫。木曜日は午後から休診だから。で、今日はみんなでどうしたの？」</p> <p>美咲「はい、あの、新型インフルエンザについて、もう少し教えて頂きたくて…」</p> <p>田中医師「ああ、なるほどね。だけどまだこれといって新しい情報が届いて無いんだな」</p> <p>美咲「あの、私たちもネットで調べてみたんです。だけど、結局、自分のことは自分で守らなきゃダメなのかなって、そういう結論になっちゃって」</p> <p>ゆかり「新型インフルエンザと普通のインフルエンザがどう違うのか</p>

	<p>なんて分からないけど、とにかくスグに広がるって話だし…だったら、うつらないようにしなきゃねって」</p> <p>美咲「そういう予防のための方法とか、マニュアルって無いんですか？」</p> <p>田中医師「…(感心して)」</p> <p>美咲「あの、先生…」</p> <p>田中医師「いや、感心、感心。その通りだよ。私がいま考えていることもそれなんだ」</p> <p>同級生たち「…(驚いて)」</p> <p>田中医師「つまりキミたちは、新型インフルエンザの予防策について知りたいわけだろう」</p> <p>美咲と同級生たち「はい！」</p> <p>田中医師「OK」</p>
7	廊下
すれ違う看護師	<p>…診察室に向かう田中医師 美咲と同級生たちもついて行く</p> <p>田中医師「インフルエンザの予防にはね、新型だろうが何だろうが、とにかくうつらないように注意をする。これが大事なんだ」</p> <p>…頷く美咲たち</p>
8	診察室
がらんとした診察室	<p>…田中医師、パソコンを立ち上げ美咲たちに説明する</p>

<p>エキストラによる再現に CG効果を重ねて表示</p>	<p>田中医師「じゃあ、どうすればうつらないのか。それはズバリ、ウイルスに触れないに限る」</p> <p>美咲と同級生たち「・・・」</p> <p>田中医師「ところが、問題はどやればウイルスに触れずに済むかだ。じつはこれが難しいんだな。なにしろ、ウイルスは目に見えないからね」</p> <p>…感染経路を表す再現イメージに声が重なる</p> <p>田中医師の声「インフルエンザウイルスは、咳やくしゃみで飛び散ったり、空気を通じてうつることもある。ウイルスが口や鼻、そして目から体内に入るんだ」</p>
<p>飛沫の動き</p>	<p>美咲の声「目からもですか」</p> <p>田中医師の声「そう。だから、予防のためにマスクをしていても完全に防げるわけじゃない」</p> <p>…CG効果によるウイルスの飛散イメージ</p>
<p>飛び散る飛沫</p>	<p>田中医師の声「ちなみに、1回の咳やくしゃみで飛び出すウイルスは、1万から10万個。それが、だいたい1メートルから2メートルの範囲に広がって、床やテーブルや食器など、ありとあらゆるものに付着する」</p>
<p>接触感染の様子</p>	<p>田中医師の声「そしてこれらに触れた手で食事をしたり、眼こすったりすると、ウイルスに感染してしまうわけだ」</p> <p>…手洗いのイメージ</p>
<p>手洗い</p>	<p>田中医師の声「つまり、ウイルスに触れないためには、できるだけこまめに手を洗うこと」</p> <p>美咲の声「手洗いですか」</p>

	<p>ゆかりの声「地味(笑)」</p> <p>田中医師「確かに地味だね。でも、この地味な習慣が、うつらないためには大切なんだな」</p> <p>…田中医師、パソコン画面から振り向いて 真剣にメモをとる美咲たち</p> <p>田中医師「そしてもう一つは、可能な限り外出を避けること。とくに大勢の人が集まる場所や、人ごみは避けるに限る。これもうつらないためには重要だよ」</p> <p>…田中医師、立ち上がり、美咲たちも続く</p>
9	廊下
逆方向	<p>…ナース室に向かう田中医師と美咲たち</p> <p>田中医師「手を洗う、人ごみを避ける。うつらないためにはこの2つがポイントになる。では、うつさないポイントとは何か」</p> <p>美咲「うつさないポイントですか？」</p> <p>…田中医師、立ち止まり</p> <p>田中医師「そう。インフルエンザの被害を抑えるためには、自分がうつらないようするだけでは十分じゃないんだ。万一、君たちが感染したときに、他の人にうつさないようにすることもとても大事なんだよ」</p>
10	ナース室
それほど広くない ナース室	…看護師の秋山久美子(27)がいる

田中医師「人にうつさないためにはマスクをする。これは当然だよ  
ね。さらにもう一つ咳エチケットを心がける」

美咲「咳エチケット？」

田中医師「そう。簡単だから、皆さんも覚えていって下さい。じゃあ、  
秋山さん」

秋山「はい。咳エチケットとは、まわりにウイルスを撒き散らさないた  
めのマナーなんです。とっさに咳やくしゃみが出そうなきつてあり  
ますよね。そんなとき、ティッシュをたたんで、口と鼻を押さえま  
す。そして他の人にかからないように顔をそむけて咳をします。こ  
れが咳エチケット」

…メモをとる美咲たち

秋山「咳を受けたティッシュはすぐに、ふた付きのゴミ箱に捨てて下  
さい。できればすぐに手も洗います」

ゆかり「あの、もしティッシュが無かったらどうすればいいんですか」

秋山「そういう場合はね、肘をこんなふうに曲げて、口元にしっかり当  
ててから咳をします。これだけでもだいぶ違うんですよ」

…それぞれに形を真似たりする美咲たち

秋山「もちろん、咳が出るときは常にマスクをします。家族にうつさな  
いために家の中でもマスクをして下さい」

田中医師「そしてなるべく外に出歩かない。うつらないためにも、うつ  
さないためにも、外出しないのが一番です」

美咲と同級生たち「はい」

11

夕方／ロビー



<p>エキストラによる再現に CG効果を重ねて表示</p> <p>肘の場合</p>	<p>…田中医師、秋山看護師を囲んで美咲たち</p> <p>美咲「今日はありがとうございました」</p> <p>同級生たち「ありがとうございました」</p> <p>田中医師「いやいや、こちらこそ。キミたちのような若い人たちが関心を持ってくれると、心強いよ。いつ新型インフルエンザが発生しても慌てないように、これからは皆さん一人一人が心がけていて下さい」</p>
<p>ティッシュの場合</p>	<p>同級生たち「はい」</p> <p>ゆかり「あの、私たち皆で話し合ったんですけど、今日のお礼に、もしいざとなったら、何かボランティアでお手伝いできませんか」</p> <p>同級生たち「やらせて下さい」「がんばります」</p> <p>田中医師「いや、ありがとう。だけど、その気持ちだけで十分だよ」</p> <p>美咲と同級生たち「えっ…」</p> <p>田中医師「実際に新型インフルエンザがどれほど危険なものか今の時点では全く見当もつかない。しかも病院の中は危険と隣り合わせだ。そんな危険な環境にキミたちを巻き込むわけにはいかないんだよ」</p> <p>美咲「そうですか…」</p> <p>秋山「その代わりに、地域のお手伝いはどうかしら？」</p> <p>ゆかり「地域のお手伝い？」</p> <p>秋山「町内会の連絡網をまとめたり、一人暮らしのお年寄りが困っていないか確かめたり。新型インフルエンザに備えて、今のうちでできることは他にもまだあるよ」</p>

	美咲「今のうちにできること…」
12	イメージ
都市の雑観	…混乱した社会の様子を再現イメージで表現する NA「私たちが今のうちにできること。それは、新型インフルエンザによるパンデミックへの準備をすることです」
住宅街	NA「もし家族に感染者が出たら、誰が看護するのか」
蛇口	NA「もしライフラインがストップしたら、水や食料はどうするのか」
食料品の棚	NA「もし、公共交通機関がマヒしたら、どうやって移動するのか」
駅の構内	NA「そういった、万への備えを一日も早く整える必要があります」
行き交う人々	
13	夜／美咲の自宅
夕食時の家族4人	…美咲、父、母、弟が夕食をとっている 美咲「職員会議でね、先生たちが新型インフルエンザへの対策を話し合ったんだって」 母親「いやよねえ。もし受験と重なったらホント迷惑」 美咲「あのね、そういう次元じゃないの。ひょっとしたら何ヶ月間も学校閉鎖になるんだって」 父親「な、何ヶ月も？」 美咲「お父さんの会社だって大変よ。いっぺんに皆が休むから、世の中が人手不足になるって言ってた」

<p>母親「やだわ。あなた、工場も止まるんじゃないのかしら」</p> <p>父親「それはまずいな。いや、もしウチが平気でも、下請けさんがストップしたらお手上げた」</p> <p>美咲「それにね、そろそろ我が家も、水や食料の買い置きをしておいたほうがいいみたい」</p> <p>母親「買い置きって、何日分ぐらい必要？」</p> <p>美咲「少なくとも二週間」</p> <p>父母「二週間！？」</p> <p>父親「お前、地震か何かと勘違いしてないか(笑)」</p> <p>美咲「これは地震と同じ、自然の猛威だよ…ううん、むしろパンデミックは地震よりも手ごわいかも知れない」</p> <p>母親「でもね、家族4人分を二週間なんて、大変よ」</p> <p>美咲「あっ、そうそう」</p> <p>父親「？」</p> <p>美咲「家族4人分じゃないの。5人分」</p> <p>母親「？」</p> <p>美咲「おばあちゃん分。おばあちゃん、一人暮らしじゃ大変だから、いざとなったらウチへ呼ぼうと思って」</p> <p>父親「えっ？」</p> <p>美咲「大丈夫、大丈夫。おばあちゃんとは話がついてるの。その方が安心だって、おばあちゃんも喜んでた」</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	父親「お、おい」 母親「ちよつと！」
14	翌週午後／住宅街
住宅街	…町内会をまわる美咲と同級生たち
チラシを配り、人々と話し込む美咲たち	美咲の声「こうして、私はクラスの友だちと手作りのチラシを配り、町内会を歩いてまわった」
食料品を買い込む母親	美咲の声「お母さんは、水や食料を買い込んで、おばあちゃんを迎える準備をはじめ」
会社で会議する父親	美咲の声「お父さんの会社では、新型インフルエンザへの勉強会を始めるらしい」
美咲の凜とした表情	美咲の声「もちろん、それがどれだけ役に立つかは分からない。けど今やれることをやるしかない。そうすれば、きっと慌てずに済むと思うから。たとえパンデミックが起きても、落ち着いて判断できるはずだから」
15	イメージ
都市のイメージ	NA「新型インフルエンザ。それは確かに自然の摂理かも知れませんが、私たちの力で被害を軽くできる可能性は残されています。パンデミック、その日がくる前に、私たちはいま動き出さなくてはならないのです」
おわり【10分間】	